

「パレオアジア文化史学」第5回研究大会プログラム(案)

第1日 2018年5月12日(土)

10:30～10:40 領域代表挨拶

**1. 連携研究発表(講演時間:35分)**

10:40～11:15 田村光平(B02)・加藤真二(A01)・山岡拓也(A01)・西秋良宏(A01)  
東アジア中・後期旧石器石器群定量化の試み(第2報)

11:15～11:50 門脇誠二(A02)・若野友一郎(B02)  
上部旧石器のはじまりと石器刃部獲得効率の関係

11:50～12:25 中村光宏(B02)・野林厚志(B01)  
東南アジア大陸・島嶼・ウォーレス線境界と文化項目の関連の定量的検証

12:25～13:00 小林 豊(B02)・上峯篤史(A01)  
石器製作を題材とした実験室実験の可能性について

13:00～14:00 昼食休憩

**2. ワークショップ「文化と環境の定量化」(講演時間:25分)**

14:00～14:25 高倉 純(A01)・近藤康久(A03)・北川浩之(A03)  
古環境から見たシベリア北極圏への人類の拡散

14:25～14:50 出穂雅実(A02)  
ロシア・トルバガ上部旧石器時代遺跡の居住年代と狩猟行動の再検討

14:50～15:15 Christian Leipe (A03)・Elena A. Sergusheva・Stefanie Müller・Konrad Hille・Robert N. Spengler III・Tomasz Goslar・加藤博文・Mayke Wagner・Andrzej W. Weber・Pavel E. Tarasov  
New palaeobotanical records from Rebun Island (Hokkaido, Japan): Implications for subsistence strategies of regional prehistoric hunter-gatherer cultures and human-environment interactions during the last 2500 years

15:15～15:35 休憩

15:35～16:00 彭 宇潔(B01)  
熱帯地域の狩猟採集民にみられる道具利用の比較研究—集団内・外における社会関係に着目して

16:00～16:25 青木健一(B02)  
文化と環境の定量化:理論的考察

16:25～16:50 黒川 瞬(B02)・小林 豊(B02)・石井拓也・若野友一郎(B02)  
文化要素の絶滅時間

第2日 2018年5月13日(日)

3. 一般研究報告(講演時間:25分)

- 10:30～10:55 野口 淳(A01)・北川浩之(A03)・三木健裕(A03)・Carla Lancelotti・Ghulam M. Veesar・Tasleem Abro・Marco Madella  
インダス平原北部における考古学・古環境総合調査—JASPAR(日パ西考古学共同調査)2018-01
- 10:55～11:20 木村亮介(A01)  
バイカル古人骨のゲノム解析可能性調査(第3報)
- 11:20～11:55 中沢祐一(A02)  
北海道東北部の置戸黒曜石産地周辺における人間活動
- 11:55～12:55 昼食休憩
- 12:55～14:00 ポスター発表
- 14:00～14:25 中沢 隆(A02)  
動物骨および皮革など考古学資料から抽出したコラーゲンの質量分析による動物種の同定
- 14:25～14:55 内藤裕一(A02)・Miriam Belmaker・Hervé Bocherens・門脇誠二(A02)  
ガゼルの歯の酸素同位体比からみた Tor Hamar における狩猟活動(続報)
- 14:55～15:20 長谷川精(A03)・門脇誠二(A02)・田村 亨(A03)・奈良郁子(A03)  
南ヨルダンの中部・上部・終末期旧石器時代遺跡堆積物からの古環境復元の試みと西アジアの古気候記録との比較
- 15:20～15:45 池谷和信(B01)  
長期間におけるアジアの狩猟採集民の社会変化と持続性
- 15:45～16:05 休憩
- 16:05～16:30 上羽陽子(B01)・金谷美和(B01)・中谷文美(B01)  
タケ利用と「単純な」技術——インド北東部アッサム地域を事例に
- 16:30～16:55 颯田葉子・藤戸尚子・高畑尚之(B02)  
自然選択検出法の開発と応用(2) 「ヒッチハイカーの非平衡中立理論」
- 16:55～17:20 太田博樹(B02)  
ホモ・サピエンスの東アジアへの拡散～古代ゲノム解析からの眺望
- 17:20～ 閉会の辞

ポスター発表

P1: 竹花和晴(A01)・加藤真二(A01)・麻柄一志(A01)・中川和哉(A01)

西ヨーロッパにおける旧人と新人の石器原石材獲得に関する比較研究

P2: 西秋良宏(A01)

レヴァント地方前期ムステリアンの諸問題

P3: 鈴木美保(A01)

シャニダール洞窟遺跡の中期旧石器ーザグロス地方ムステリアンの再考察に向けて

P4: 国武貞克(A01)

カザフスタンにおける後期旧石器文化の形成について

P5: 加藤真二(A01)

東アジアの鋸歯縁石器

P6: 上峯篤史(A01)・王 法崗

東アジアにおける石英製石器群の基礎的研究(2):中国河北省水簾洞遺跡で用いられた石器石材の由来

P7: 中川和哉(A01)

朝鮮半島におけるアシュールアン類似礫石器の様相

P8: 仲田大人(A01)

日本の初期石刃石器群の複雑度を調べる

P9: 山岡拓也(A01)

日本列島の後期旧石器時代初頭の狩猟具技術

P10: 近藤 修(A01)

デデリエ 3 号人骨の形態

P11: 澤藤りかい(A01)・Mikkel W. Pedersen・加藤博文・石田 肇(A01)

礼文島浜中 2 遺跡の土壌 DNA 解析

P12: 小野林太郎(A02)

後期更新世～完新世期のウオーレシアにおける石器・骨器利用

P13: 藤木利之(A03)・長谷川精(A03)・勝田長貴(A03)

モンゴル北部の環境変遷史ーサンギンダライ湖の湖底堆積物記録の解読

P14: 近藤康久(A03)・野口 淳(A02)・三木健裕(A03)・黒沼太一(A03)・北川浩之(A03)

オマーンにおける先史遺跡調査:ワディ・タヌーフ 1 号洞穴の発見

P15: 奈良郁子(A03)・門脇誠二(A02)

南ヨルダン旧石器時代遺跡堆積物を用いた鉱物学的アプローチからの古環境復元

P16: 田村 亨(A03)・門脇誠二(A02)

南ヨルダン Jebel Qalkha 旧石器時代遺跡堆積物の光ルミネッセンス(OSL)特性

P17: 勝田長貴(A03)

非破壊 XRF 測定による含水堆積物コア定量法の開発:高時間分解能記録復元に向けて

P18: 大西秀之(B01)・近藤康久(A03)・岩本葉子(B01)

文化としての人間行動という視座:パレオアジア文化史学の語彙分析を事例として

P19: 山中由里子(B01)

想像界の生物相(4)―旅するマンドラゴラ伝承

P20: 菊田 悠(B01)

ウズベキスタン陶器職人の技能伝承―家系と資質について―

P21: 山田仁史(B01)

狩猟採集民における生業変容:新人文化へのパースペクティヴ